

事業所名	PremiicareCODOMODUSみやび	支援プログラム	作成日	R7	年	3	月	1	日
法人(事業所)理念	CODOMODUSとは、「道」、「方法論」という意味を持つ、ラテン語のMODUS(モーダス・モダス)という言葉と、CODOMO(コドモ)をプラスした造語です。五感を刺激・創造しながらおこさまたちの心・身体・感性を育んでいくことを大切に「五感療育」を目指しています。「CODOMODUS(コドモダス)」では、ひとりひとりの発達特性に合わせたプランニングを組み、個別・グループセッションの中で、発達単元を確認していきます。アートと音楽をベースとした芸術療法等のセッションを通じて五感で感じることの楽しさ、興味を引き出しつつ、発達のペースとなる体づくりに、食や運動の面からサポートしながら豊かな心と感性の発達を促し、社会生活・集団生活への適応能力の向上を図ります。								
支援方針	<ul style="list-style-type: none"> ・お子様の気持ちや意思決定を尊重し、やりたいこと、得意なことを満足して楽しめる環境を整え、その中で強みを見つけ自分自身の目標を達成する経験を積むことで、自分を表現することに自信が持てるように支援します ・個々のお子様の特性による学習上(特に読み書き障害を対象とする)、生活上の困難を改善、克服するために必要なライフスキルを身につけ、社会の中で自分らしく生きていく力を育てます。(健康の保持・心理的な安定・人間関係構築・コミュニケーション) ・お子様が行動レベルで人間関係に関する知識や人と関わる具体的な方法や技術を学び、よりよい人間関係を築く力を育てます。 ・一人一人の社会的、職業的自立に向け、必要な基礎となる能力や態度を育てることを通してキャリア発達を促す取り組み(仕事理解や自己理解につながる教育)を支援します。 ・発達心理学に基づきお子様に合わせた個別支援のためのアセスメント、心理療法を対話・遊戯を通して実施し、環境調整や感情の調整方法、リラクゼーションなども組み合わせることで、ご本人の課題に対処する支援方法を提案、実践します。(心理支援) ・お子様の特性に合わせて個別と小グループの組み合わせで支援します。 								
営業時間	平日：11時～19時半(サービス提供時間：13時～19時) 土曜日：9時半～18時(サービス提供時間：10時～17時) * 偶数週月曜日、日曜日、祝日は休み * 支援時間：2時間	送迎実施の有無	なし						
支援内容									
本人支援	健康・生活	自身の心身の状態を把握し元気に安定した気持ちで過ごすためにセルフモニタリングとリラクゼーション方法などメンタルヘルスを学ぶ(心理) 料理と栄養素の働きや実践を通して心身の管理方法を学ぶ。(こころと栄養の教室) 自立して生活する上で必要な調理技術の習得と健康と食に対する正しい知識への理解(料理) その日の活動スケジュールの把握(内容、始まりと終わりの時間確認、休憩の取り方、行動切り替え(全活動)) 活動に必要な物の準備と管理、後片付けなどの身辺自立支援(全活動) 自立した生活に必要な買い物のスキルやお金の管理の仕方を身につける(スキルアップ) 不登校児へのメンタルサポート(心理)							
	運動・感覚	子どもに応じた感覚の特性(感覚の過敏や鈍麻)に対処する方法を子ども自身で考えていく・発見する手助け(クライエント中心療法・遊戯療法・観察)の支援(心理) こころと身体をつなげるを体感し身体感覚を育む(ヨガ療法) 場面に応じた道具の扱い、素材に触れる、様々な制作工程や調理方法の実践、楽器演奏を通して五感を使い、目と手指の協応・指先の巧緻性の向上を目指す(音楽・アート・料理・こころと栄養の教室) 姿勢保持トレーニング(スキルアップ) 身体を使う遊びとゲーム(スキルアップ) 保有する感覚器官を活用した表現活動の実施(アート・音楽・料理) 感覚や認知の特性を踏まえて感覚の偏りに対する環境調整の支援(全活動)							
	認知・行動	物事のとらえ方や、ストレスに対する対処方法などをチェックし自身の認知パターン把握、アンガーマネジメントなど自己理解支援(心理個別こころと栄養の教室) 認知の偏りから生じる生きづらさについて環境調整・補助道具(スケジュール帳・メモ帳など)の提案と活用の練習(全活動) 発達性ディスレクシア、読み書きが苦手なお子様対象のICTを活用した読解・作文支援と合理的配慮のための準備(言語聴覚士) 発達性ディスレクシアのお子様対象の英語学習支援(言語聴覚士) ICT活用した調べ学習と自身でたてた計画を視覚的に整理しまとめる、PCスキルの習得(アート・プログラミング・スキルアップ・歴史クラブ) 五感を十分に活用し、必要な情報を収集して適切な理解や行動を促す支援(アート・音楽・プログラミング・料理・スキルアップ) 物の機能や属性、形・色・音の変化と違い、空間・時間などの概念形成を図る支援(アート・音楽・料理・スキルアップ・プログラミング) 自己と他者の気持ちの理解、感情コントロール方法の支援(全活動) 行動障害への予防と適切な行動への対応支援(全活動)							
	言語コミュニケーション	挨拶と気持ちのいい声かけの練習(全活動) 発達性ディスレクシア、読み書きが苦手なお子様対象のICTを活用した文章読解・作文支援(言語聴覚士) アサーショントレーニング(主張訓練)を通して自身の気持ちを相手の気持ちに込めて伝える練習(心理) 自分のしたいことや考えを伝える中で話し方、聞き方、傾聴、質問の仕方などの言語受容と表出の支援(全活動) 個々の興味や特性に応じた多様な表現方法を活用し意思伝達や思いを形に表す支援(アート・音楽・プログラミング) 具体的な事柄、体験と言葉の意味の結びつけ、感情と言葉のつながりの理解、感覚的な言葉を引き出す支援(アート・音楽・料理・こころと栄養の教室・言語聴覚士) 活動終了後に自身の気持ちや感想などを書く、話す練習(全活動) 自分の思いや意見をわかりやすく発表したり、相手の意見を聞く機会を作る(音楽・プログラミング・料理・こころと栄養の教室、スキルアップ・歴史クラブ・言語聴覚士) 集団での遊びやSSTゲームを通して相互コミュニケーション支援(スキルアップ)							
	人間関係社会性	ネットリテラシー勉強会(プログラミング) 役割分担や協力をしながら一つのものを作り上げる(音楽・プログラミング・料理・スキルアップ) 社会的なマナー、ルールを学び、TPDに応じた適切な行動や発言を集団活動の中で行動に繋げる支援(全活動) ディスカッションやロールプレイ、共同作業、作品発表の機会などを通して自己理解と他者理解を深めるソーシャルスキルトレーニングの実施(プログラミング・音楽・料理・スキルアップ・歴史クラブ) 自身の作品、取り組んでいることを発表し他者の発表を聞く機会を通して、自分の得意、苦手を理解したり、自己と他者との違いを受け入れ、相手も自分尊重できることを目指す。(アート・音楽・プログラミング・歴史クラブ・スキルアップ) 人間関係や社会性に関する内容の物語を読み感想を書くことやディスカッションの機会を通して、他者の考えを知り、マナーやルール、人との関わり方を身につける(言語聴覚士) アタッチメント形成のための支援(全活動) 遊びを通して社会性の発達。認知発達段階を意識した遊びの中でどのような課題を持って遊んでいるかということ意識して観察を行い、遊びを通して社会性の発達(クライエント中心療法、遊戯療法、話し合いの機会、合意の練習習慣、指示理解質問等)を促す(心理)							
家族支援	日々の活動の中のお子様の様子やよかったこと、気になること、支援内容などの情報共有を行う。ご家庭で取り組めることやお子様への関わり方の助言を行う。ご家族の意向の確認をしい、必要に応じて支援に反映させる。ご家族をお子様を支援するチームの一員として考え、一緒にできることを考えともに実践していく。心理的視点からの子どもとのかわり方(兄弟間の関わりも含む)について、ご家族の思いを尊重しながら助言を行う。保護者学習会の開催(発達特性や支援に関すること、将来の選択や進路に関すること、ペアレントトレーニング、保護者同士の交流など) 希望にあわせて実際の支援の様子の見学や個別面談も可。	移行支援	進級、進学、就職などのライフステージの変化や他福祉サービスへの移行時にはお子様やご家族のご希望に応じた支援情報の共有等を実施。またお子様の希望やご家族の意向をふまえて、進路選択に必要な情報提供や情報の整理を行い、希望の進路に進むために必要な取り組みを支援。						
地域支援・地域連携	お子様やご家族の意向に応じて、学校や医療機関などの関係機関と連携、必要な情報を共有し、得られた情報を事業所での支援や個別支援計画の作成に活かす。学校と合理的配慮や環境調整について連携の実施。展示会の開催や作品を施設外に公表する活動を通して地域の方と交流する機会を作っている。	職員の質の向上	社内研修会の定期的な開催と、支援に必要な情報を得るために外部研修会へ積極的に参加し、情報の収集やアップデートを行っている。						
主な行事等	日々の取り組みの成果や作品を発表する展示会を年1回開催(作品展示・ギャラリートーク・研究発表・カフェなど) 音楽発表会を年1回開催(会場もしくは動画発表) 長期休みにはお子様の希望に合わせたイベント企画								